



成果目標

堆雪幅が確保されている区間及び防雪対策施設が設置されている区間の延長の割合の伸び率

アウトカム指標の算定方法 → $\Sigma(\text{冬期交通対策済延長}) / \Sigma(\text{冬期交通確保延長})$

●整備目的

全域が積雪寒冷地である秋田県において、冬期交通障害を軽減し、安全で円滑な冬期道路交通の確保を図る道路整備を実現し、生活の安全と地域の振興を図る。

堆雪幅確保、歩道融雪施設、防雪柵、流雪溝、雪崩予防柵

アウトカム指標	現況値 H16当初	中間目標 H17末	最終目標 H19末
目標値	—	28.4	28.8
実績値	27.8	28.8	29.0

▼ 整備必要箇所例



●整備達成状況

事業が概ね順調に進捗し、平成19年度末の最終目標を上回る事ができた。

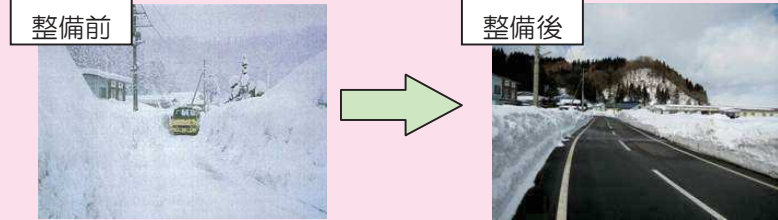
H19末【目標】28.8% 【実績】29.0%

達成！

完成事業の紹介

湯沢市 下河原工区

当路線は、堆雪により幅員が狭められ冬期の車両すれ違いが困難な状況でした。



由利本荘市鳥海町 立石峠工区

当路線は、雪崩が頻繁に発生し通行止めとなるなど危険な状況でした。



◆今後の方針

事業は概ね順調に進み長期目標が達成された。しかし冬期における交通障害への対策の実施率は3割に満たない状況であり、今後も冬期交通障害を軽減し、安全で円滑な冬期道路交通の確保を図るため重点的に整備する。

▼ これまでの整備事例 ▼

